

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：

MSSA 及び MRSA 菌血症患者における治療マネジメントバンドル遵守率からみる非常勤感染症内科医の効果

<目的及び概要>

当院では、AST(Antimicrobial Stewardship Team)活動の一環として、2019年1月から血液培養陽性者に対する治療マネジメントバンドルを電子カルテに記載している。ASTに感染症内科医が不在であったが、非常勤の感染症内科医が2023年5月から加わり、難渋症例への積極的な介入が可能となった。今回、AST院内活動において感染症内科医の関与がMSSA(Methicillin-Sensitive *Staphylococcus Aureus*)及びMRSA(Methicillin-Resistant *Staphylococcus Aureus*)のバンドル遵守率に与えた影響を調査した。

<研究方法>

血液培養からMSSA・MRSAを検出した患者を対象に、A群:バンドル記載の開始初期(2019年4月～2020年3月)とB群:感染症内科医の関与後(2024年4月～2025年3月)におけるバンドル遵守率、30日以内死亡率(再入院率)、転帰について、電子カルテを用いた後方視的研究を行った。<ブドウ球菌バンドル1:抜去可能であれば血管内カテーテルは早期抜去、2:心エコーでIE・弁膜症のチェック、3:初回血培から2～4日後の血液培養陰性化の確認、4:陰性化から2週間の治療(原則静注)、5:IE・骨髄炎など合併の場合は最低6週間以上の治療が必要>なお、バンドル4は静注を使用した場合のみ実施とし、バンドル3及び4は治療経過中の死亡例を除外し評価した。

<研究成果発表>

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

薬剤部：福山裕季子 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151 (代表)